



診療放射線技師になるには

谷村寿喜、宮城莉子、与那覇侑弥、具志華

診療放射線技師になるためには、国家試験に合格し、資格を得ることが必要です。

沖縄県には診療放射線技師の学校がなく県外の大学、専門学校に出るしかありませんが、県外にできるメリットもあります（親のありがたさを知った）。

診療放射線技師を目指す学校(大学、専門学校)に入るためにどんな科目が必要なのか気になる人も多いと思います。診療放射線技師は医療系の資格なので、様々な装置を扱ったりするために理数系のイメージがあるかもしれませんが、確かにその通りなのですが、高校で文系だったり物理を選択していなかったりする人もいますし、学校に入ってから授業は基礎的な授業から始まりますので大丈夫です。ただし、数学や物理の勉強をしておいて損することはありませんので、高校で授業がある人はしっかり勉強しておくといいと思います。

診療放射線技師の学校では、医学、工学、放射線などに関して幅広い知識を身につけ、さまざまな機器を扱うための技術力を磨きます。また、病院で実習を行うこともあります。実習は学校で基礎的な勉強をしてからになりますので、学校に入ってから基礎的な勉強がとても大切です。

1.放射線技師とは？

医師のオーダーのもと、放射線を用いて行う画像検査や放射線を用いないMRI検査や超音波検査なども行い、診断しやすい画像を医師に提供します。また画像検査以外にも、がんなどの患部に放射線をあてて治療を行う放射線治療などがあります。

2.診療放射線技師として、やりがいを感じるのは、どんな時？

自分が撮影した写真で、医師に病気やケガをみつけてもらえるのが一番のやりがいです。患者さんの中には、立つことのできない方や、痛みがあつて体勢をキープできない方もいるため教科書通りにいかないことが多々あります。

その中でも患者さんに負担のかからないように考え、工夫して、撮影した結果、イメージ通りに写真に写っていると達成感があります。

それを基に医師が病気やケガの診断をしたり、治療方針を決めるので、診察や治療に貢献できたときに大きなやりがいを感じます。



3.診療放射線技師を目指す高校生にアドバイスするとしたら？

診療放射線技師という職業自体、認知度は低いのですが、レントゲンやCT、MRIなどを撮影しないと、病気やケガの診断ができない上、得られた画像によって病気や骨折などを見つけることが出来るので、治療方針を決定する上で重要な仕事です。

早期発見という点で患者さんを救うことができると思うので、人の役に立つ仕事をしたいという人に向いていると思います。また、命を預かっているという大きなやりがいがあります。

4.診療放射線技師の仕事で大変なことはなかった？

放射線技師の資格を取得することによって出来る業務は多く、それだけの知識が必要となってくるため日々の勉学は大事です。また、医師からのオーダーを受けて撮影するのですが、医療用語や

略語で指示を受けることが多いので放射線に関する専門的な知識だけでなく、医療用語やその略語も覚える必要があります。また、こちらの病院の夜勤帯は一人対応なため、緊急検査が入った時、技師の対応力が求められます。

よい画像を撮るために試行錯誤しながら撮影を行っています。同じ撮影でも年齢、体格、身体の状態によって必ずしも同じように撮れるとは限らないので、臨機応変に工夫して撮影を行っています。場合によっては、患者さんを支えながら撮影することもあるので、体力のいる仕事だと思います。

5.COVID-19 感染対策

COVID 感染患者や疑いのある患者の撮影では、検査前に病棟や外来と連絡を取り、検査時間や人員配置の調整をすることで、撮影時、COVID 患者と他の患者との接触が無いようにしています。撮影後はしっかりと換気を行ったうえで、清掃を行います。

6.被曝

子供の撮影や、妊婦の撮影による胎児への影響をよく聞かれますが、レントゲン撮影で被曝する量は自然に浴びている放射線の量よりもはるかに少ないと言われています。撮影の際の放射線被ばくの影響は、影響を受けるといわれている被曝の量よりも、十分低い放射線量で検査を行っています。

被曝への対策として放射線技師は、診断に必要な部分だけにしか放射線が当たらないように範囲を調整したり、患者さんの体格や状態によって、必要最小限の放射線量を使用するなど、心がけています。

7. 放射線技師を目指したきっかけ

小さい頃から見舞いなどで病院に行く機会が多く、その時から医療職に興味があった。様々な医療職のなかで放射線技師を目指そうと思ったきっかけは高校生の時です。部活で怪我をして病院に行った際にレントゲンを撮りました。診察でレントゲン写真を見て、放射線で身体の中が見えること、そして写真から病気を発見できることに衝撃を受けました。私も放射線技師として様々な検査を行い、画像を提供して病気の発見に貢献したいと思い、診療放射線技師を目指しました。

